



全国釣竿公正取引協議会 第176回理事会 議事録

1. 開催日時 令和6年3月13日(木) 14:30~16:30
2. 開催場所 会場：日本フィッシング会館8階会議室
東京都中央区八丁堀二丁目22番8号
オンライン：オンライン会議システム (Zoom)

3. 議 事

-1 定足数確認

理事総数 13名・監事総数 2名

<会場出席者数 理事 8名・監事 2名>

副会長 橋本 俊哉 (株式会社エバーグリーンインターナショナル)

専務理事 小松 智昭 (一般社団法人日本釣用品工業会)

理 事 鈴木 隆 (株式会社リチャーズ)

理 事 鈴木 健一 (株式会社上州屋)

理 事 宇崎 隆 (株式会社宇崎日新)

理 事 加藤 慶太 (株式会社ジャクソン)

理 事 鈴江 浩康 (グローブライド株式会社)

理 事 高田 務 (株式会社シマノ)

理 事 宮澤 政純 (マルキュー株式会社)

監 事 玉越 和夫 (株式会社スミス)

監 事 姫野 哲司 (株式会社ティムコ)

<オンライン出席者数 理事 2名>

会 長 藤井 治幸 (株式会社がまかつ)

理 事 谷山 令一 (谷山商事株式会社)

<委任状出席理事 2名>

副会長 塩澤 直人 (株式会社天龍)

理 事 櫻井 孝行 (櫻井釣漁具株式会社)

会則第21条第1項の規定により、過半数の理事が出席しているため、第176回理事会は有効に成立した。

-2 議長選任

会則第21条第2項の規定により、藤井 治幸 会長が議長に就任し議案審議については、会場とオンライン会議システム Zoom をつないで行った。

-3 議決権行使及び意見表明方法

出席者は、会場もしくはオンライン上で、理事は議決権を行使、監事は意見表明を行った。

-4 第 175 回理事会議事録確認

- 第 1 号議案 入会について <承認決議事項>
- 第 2 号議案 第 40 期（令和 5 年度）9～11 月事業実施状況について <報告事項>
- 第 3 号議案 第 40 期（令和 5 年度）中間監査について <報告事項>
 - 1 中間監査実施報告
 - 2 11 月 30 日時点 収支報告（第 3 四半期比例会費）
- 第 4 号議案 規約検討会 開催報告について <報告事項>
- 第 5 号議案 当協議会会則 改正について <承認決議事項>
- 第 6 号議案 役員定年規程について <承認決議事項>
- 第 7 号議案 公正マークシール販売について <承認決議事項>
- 第 8 号議案 周知広報について <承認決議・報告事項>
 - 1 2024 年ポスターの発行
 - 2 11 月 30 日（木）11：30 会員各社 SNS による公正マーク一斉告知
 - 3 2024 フィッシングショー出展
 - 4 2024 下半期広報（WEB メディア、YouTube）
 - 5 その他広報
- 第 9 号議案 その他 <承認決議・報告事項>
 - 1 関西電力送配電株式会社からの協力依頼について
 - 2 議事録 メール配信について
 - 3 改正電子帳簿保存法への対応
 - 4 次年度会議日程について
 - 5 その他

第 175 回理事会の詳細は、議事録を確認していただく。

-5 第 176 回理事会議事録署名人の選出

会則第 23 条及の規定により、藤井 治幸 議長、出席理事より鈴木 健一 理事、
鈴江 浩康 理事が就任することに同意した。

4. 議 案

第 1 号議案 第 40 期（令和 5 年度）事業報告

および第 41 期（令和 6 年度）事業計画案について <承認決議事項>

議長の指名により、事務局が資料に基づき、第 1 号議案の報告を行った。

なお、次年度事業については、第 2 号議案の予算と関係があるため、第 2 号議案終了後に審議を行ったが、議事録については第 1 号議案内に記録することとする。

まずは、12 月から 3 月までの事業実施状況について報告を行った。

-1 会員数 65 社

期中入会 2 社 株式会社エイチ・エー・エル
株式会社グラスルーツ

-2 申請・認定書発行枚数 4 月～3 月 12 日

新規 213 件
追加 105 件

- 3 シール頒布枚数 4月～3月12日
 - 公正マーク 533,000枚
 - 公正マーク警告表示 129,000枚
 - 警告表示 25,500枚

-4 その他

関西電力発送電株式会社より、釣竿の電気的特性、感電事故に関する情報提供の依頼へ協力したことについて、お礼があったことを報告した。

つづいて、次年度事業計画案について審議を行った。第2号議案の予算をもとに次年度事業計画を立てると、事業費の予算が8,480,000円程度になる。このうち、広報宣伝事業費に割り当てができる費用は、278万円程度となる。この予算では、すべての事業を行うことが難しいので、どの事業を継続して行うか検討したい。検討の結果は、それぞれ結論として記録した。

①事業費 広報宣伝事業

- ア) フィッシングショー 横浜・大阪3コマ出展 300万円前後
結論：継続する。
- イ) 感電疑似体験装置 保管料17万円、設置費用50万円程度
結論：本年度中に処分する。
- ウ) 雑誌広告 1誌15～30万円程度
結論：次年度については、出稿を見送る。
- エ) ポスター 作成・印刷・報酬 90～100万円程度
結論：継続する。

②事業費 調査事業費

- ア) 繊維含有率検査 40～50万円程度
結論：検査を実施するに至った過程等を検討し、数年に1度程度の実施、1回の検査本数の調整、中止を改めて検討する。ただし、次年度については中止とする。
- イ) 店頭調査 150万円程度
結論：調査指導委員会で店頭調査の在り方を検討する。

③事業費 ホームページ事業費 30万円程度

結論：次回改修時に、事務局が更新できるようなホームページにしていく。

④管理費 会議方法、表彰制度、研修、リース等の見直し

結論：見直せるものを見直していく。

質疑応答の後、第1号議案について、議長が議場に諮ったところ、報告については了承された。次年度事業計画案については、各支出を見直し再度計画案を事務局が作成し、後日持ち回りで決議をすることとなった。

第2号議案 第40期（令和5年度）収支決算見直し

および第41期（令和6年度）収支予算（案）について〈承認決議事項〉
議長の指名により、事務局が資料に基づき、第2号議案の説明を行った。
まずは、2月29日現在の貸借対照表の報告をおこなった。

【貸借対照表 R6.2.29】

流動資産合計 27,213,639円 対前年比 87%

固定資産合計	15,636,739 円	対前年比	99%
資産合計	42,850,378 円	対前年比	91%
正味財産合計	42,850,378 円	対前年比	91%
負債及び正味財産合計	42,850,378 円	対前年比	91%

つづいて、3月末見通しの正味財産増減計算書の報告を行った。

【正味財産増減計算書 R5.4.1～R6.3末見通し】

経常収益計	18,652,394 円	対前年比	71%
経常費用計	20,158,316 円	対前年比	76%
（事業費計	12,147,220 円	対前年比	67%
（管理費計	8,011,096 円	対前年比	96%
当期経常増減額	-1,505,992 円	対前年比	232%
正味財産期末残高	39,874,044 円	対前年比	98%

つづいて、令和5年度3月末見通しを基本に、令和6年度の予算案を提案した。令和5年度の収入減少の見込みについては次の通りとなっている。①シール売上令和4年比580万円減少（令和6年度は700万円減少予定）、②比例会費収入令和4年度比210万円減少、③収入全体は、令和4年度比770万円減少となる見込みである。収入減少をもとに、予算案を作成すると概要は、下記の通りとなる。

【収支予算書 R6.4.1～R7.3.31】

経常収益計	16,248,500 円	対前年見通比	87%
経常費用計	16,239,560 円	対前年見通比	81%
（事業費計	8,480,000 円	対前年見通比	23%
（管理費計	7,759,560 円	対前年見通比	97%
当期経常増減額	8,940 円	対前年見通比	168%
正味財産期末残高	39,882,984 円	対前年見通比	100%

質疑応答の後、広報に関する予算が270万円程度になっており、各事業費、管理費を見直し、広報に費用を割けるよう、再度予算を作成したほうが良いとの意見があり、議長が議場に諮ったところ、第2号議案は報告については了承され、令和6年度予算については、後日持ち回りで承認を得ることとなった。

第3号議案 周知広報について <承認決議・報告事項>

議長の指名により、事務局が資料に基づき、第3号議案の報告を行った。

-1 フィッシングショー出展 <報告事項>

1/19（金）～21（日）の3日間、横浜市パシフィコ横浜で開催された、釣りフェスティバル2024（主催 一般社団法人日本釣用品工業会）、2/2（金）～4（日）の3日間、大阪市インテックス大阪で開催されたフィッシングショーOSAKA 2024（主催 大阪釣具協同組合）に、主催者の協力を得て出展を行った。ブースでは、ポスターモデルのビジュアルを使用した釣竿公正マークの紹介、感電事故防止の啓蒙を行った。また、アンケートを実施し、アンケート回答者には、公正マークのノベルティグッズをプレゼントした。

-2 2024ポスター <承認決議事項>

2024ポスターのデザインについて、3点提案した。デザイン案が決定したのち、4

月上旬までに、事務局から会員企業の皆様にお送りし、会員企業の皆様のご関係のある、釣具店様、釣り船店様、管理釣り場様などに配布を行っていただく。デザイン案の決定と、会員企業の皆様のご協力で配布を行うことについて承認をお願いしたい。

なお、モデルは本年に引き続き、YouTuber マルコスさんである。

議長が議場に諮ったところ、2024 年度ポスターのデザインが決定し、会員企業の皆様のご協力で配布を行っていくことが了承された。

-3 2023 その他広報報告 <報告事項>

YouTube 六畳一間の狼のチャンネルにおいて、アングラーズアイドル木花漣さん、女性アングラー エリカさんがゲストとなり、シーバス釣りとは釣竿公正マークの紹介、釣竿からの感電注意についての動画が、12月28日（木）に公開となった。また、この動画と連動し TSURI HACK にて、プレゼント企画を実施した。

質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、第3号議案は、満場異議なく可決承認された。

第4号議案 その他 <承認決議事項>

議長の指名により、事務局が資料に基づき説明を行った。

-1 公正マークシール仕入価格改定について

製造を担当している協力企業より、原材料費等の高騰でシール価格改定の要請があった。現状であれば、販売価格内で吸収できる仕入価格の改定であるため、販売価格の改定については行わない。ただし、今後の販売状況によっては、販売価格の見直しを行う。仕入価格の改定について、承認いただきたい。

-2 令和6年 第40回定時総会開催方法 <承認決議事項>

5月30日（木）に開催する第40回定時総会については、会場（日本フィッシング会館）のみでの開催を承認いただきたい。

質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、第4号議案は、満場異議なく可決承認された。

以上をもってすべての議案審議が終了したため、議長は第176回理事会の閉会を宣言した。

令和6年3月13日

上記の議決を確認するため議長及び議事録署名人は次に署名、捺印する。

全国釣竿公正取引協議会 第176回理事会議事録

議長理事 会長 藤井 治幸

藤井 治幸



議事録署名人 理事 鈴木 健一

鈴木 健一

議事録署名人 理事 鈴江 浩康

鈴江 浩康

——以下余白——